

広告特集

地方再生がニッポン再生



鳥取県知事  
平井 伸治

も加わって、鬼太郎に登  
場する妖怪などのブロンズ像が139体まで増殖中。妖怪像とともに観光客も増え、ゴールデンウエークも加勢へ挑戦する舞台に立

「山陰海岸ジオパーク」は、日本海誕生の歴史を刻む絶景の自然美で世界シオパークネットワーク加盟へ挑戦する舞台に立

「牛骨フーメン」など、本県のB級グルメも話題になっている。

その本県に向けて、鳥取市と山陽・関西方面を

オストクを結ぶ定期貨客船「DBSクルーズフェリー」は日韓口交流の門戸となり、真の環日本海時代の扉が開かれた。

今、鳥取県が面白い！

連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」ゆかりの地、鳥取県境港市の「水木しげるロード」には、主人公の水木しげるご夫妻像

イクには過去最高の26万人の人出でにぎわった。さらに世界の漫画家が集う平成24年「国際マンガサミット」の本県が急上昇している。昨夏開催も内定。最近では、豚骨でも鶏カラでもない

結ぶ無料の鳥取自動車道が3月に開通し、利便性が急上昇している。昨夏就航した、境港と韓国・東海港、ロシア・ウラシ

今、鳥取県が面白くなってきた。「大交流時代」の到来を迎えた山陰。豊かな自然とロハスな生活にひかれて、IJU（移住）ターンの数も増えている。国内外との絆と地域のあふれる魅力を土台に、山陰の皆さんとともに新たな地域づくりのステージに挑戦する。